

議会運営委員会

2月16日～17日

● 研修目的

△ 本会議の日程について
△ 一般質問について等

● 研修地

△ 岐阜県笠松町

● 研修内容

笠松町は、人口約2万2千人、世帯数約8千百面積役10・4キロ平方メートルで木曾川右岸沿って帯状に広がる低温地で競馬場があり、濃尾平野のほぼ中央に位置するところ。笠松町議会運営全般について研修を行いました。通常の議会は年4回、議案は、本会議開催5日前に概要を説明その後議会運営委員会を開催し本会議に入る。本会議後休会中の3日間を

かけ予算関係について部門ごとの勉強会をし本会議での採決となる。委員会には2委員会が設置されていますが、委員会付託は無く、議員10名による本会議重視での採

決をするそうです。

一般質問は、毎回7～8の議員が受け付け順で質疑答弁を入れて60分で終了、2日間かけてしているそうです。

議会改革については、傍聴者をもっと増やす取り組みとして本会議前にオカリナでの議場コンサートを15分間行ったそうです。大変反響がよく多くの人が来ていただいたそうです。

● 今後の課題

当町も今後町民の方に議会を少しでも理解してもらおうための方法として傍聴者を増やす努力が必要と感じました。また予算に対しての取り組みについて、理事者側との意見交換も必要と感じました。この研修を通してこれから町民の立場に立ちより一層議会改革を推進して参ります。



笠松町町長・議長・副議長と



研修風景



研修に来られました

★江田島市議会来庁

視察受け入れ

2月7日、広島県江田島市より、議会広報への視察がありました。

議会広報委員会としての視察を受けるのは初めてですが、質疑応答は熱を帯び、2時間が短く感じました。より高みを目指そうと、ますます取り組みに意欲が湧いてきました。

★名護市議会来庁

2月23日沖縄県名護市から、厚生関係の視察がありました。

当町のごみ行政（分別方法や3Rの取り組み）を参考にとの、意欲的な質疑応答がありました。ごみ問題に熱心に取り組む姿勢は、受け入れ側も勉強になりました。